

【6年生】後藤さんから戦時中の体験談をお聞きしました

2月18日（水）に、6年生の全クラスが参加して、学校の裏の後藤さんから、戦時中の様子や暮らしなど、当時の体験談を聞きました。6年生は社会科「長く続いた戦争と人々の暮らし」の学習を通して、教科書や資料集の資料や動画などから、当時の日本が中国やアメリカなどの国々と戦争をしていたことを学びました。

今回は、当時小学6年生だった後藤さんから体験談を聞くことで、学習したことについてより実感を伴った理解につなげていくことをねらい、実施しました。子どもたちは後藤さんに質問したいことを次々に発表し、後藤さんは当時の様子を分かりやすく、丁寧にお話してくださいました。

～子どもたちの感想～

「当時は勉強をしたくても食べる物を作るために家の仕事をしなければならなかったもので、今のくらしがとても幸せなことなんだと思った。」

「私は、戦争は悪いもので国民は国に対して怒りという気持ちをもっていると思っていました。でも後藤さんの話を聞き、国民は戦争に協力しようとしていたり、国のために頑張りたいという気持ちを強くもっていたり、苦しい生活の中でそんなふうに思っていたのはすごいことだと思った。」

「後藤さんの話を聞いて、今の平和や自由が当たり前ではないことを再確認できたし、このことを忘れられないようにするのが自分たちにできることだと考えました。調べるだけでは分からない当時の人の夢や思いを知ることができました。」

